

こぶしの花

令和元年11月27日発行

第205号

むつみ中学校

学校だより

【ホームページ】

<http://edu.city.hagi.lg.jp/mutsumi-jh/index.html>



第2回森林の教室

～松茸13本・0.5Kgの収穫でした。～

10月23日(水)松茸の生育状況が遅く延期になっていた第2回森林の教室を開きました。むつみ林業振興会、県萩農林事務所、阿武萩森林組合むつみ支所、むつみ総合事務所のご協力により、生徒たちは安全に松茸の収穫を行うことができました。県萩農林事務所の小坂さんから松茸狩りのアドバイスを受け、6グループに分かれて探しに出かけましたが、今年はなかなか見つかりませんでした。夏から秋にかけての天候、アカマツの樹齢など様々な原因があると思いますが、一生懸命探して、13本、0.5Kgの収穫でした。生徒たちは、自然の厳しさを痛感したようです。収穫した松茸は、文化祭で松茸汁にいただきました。関係機関のみなさん本当にありがとうございました。



文化祭スローガン

「いいね👍むつみ～時代を超えて新たな伝説を～」

10月27日(日)文化祭スローガン「いいね👍むつみ～時代を超えて新たな伝説を～」のもと令和元年度むつみ中学校文化祭が行われました。浦島太郎をはじめとするおとぎ話の主人公が文化祭を見るというオープニングから始まり、2年の職場体験学習活動報告、の理科の自由研究発表、萩・阿武英語暗唱弁論大会で銀賞を受賞した、

の暗唱・弁論など生徒の発表が続きました。

また、ふるさと学習の「自然環境班」は、鍛冶屋交差点の看板をきれいにし、虫枯大地蔵の周りの清掃活動と標柱を新しくした過程を報告しました。「地域活性班」では、MCTなどでのボランティア活動の報告や「地域CM」発表を行いました。「伝統継承班」は、むつみ神楽「大蛇」を舞いました。文化祭企画班では、オープニングからクロージングまでの企画から運営までを行い、展示班は、巨大モザイクアート「むつみの四季」を完成させ披露しました。劇班は、「グッドバイ・マイ…」という作品で、この世に生まれ出るときの葛藤を真剣な演技で演じ、一生懸命生きようとする人生を描きました。

地域の合唱グループ「コールこぶしの花」のみなさんのきれいな合唱やPTA総務部が作った昼食の松茸汁が文化祭に花を添えました。この文化祭は、生徒の自主的な取組を通して、生徒の主体性を育むことを目的としています。文化祭の活動を通して、積極的に活動しようとする意欲が育ったようです。



月頭集会～千石台出荷組合長 田村健二様の講話～

11月5日（火）の月頭集会では、千石台出荷組合組合長の田村健二さんをお招きし、「千石台の歴史と大根」について話をいただきました。「戦後すぐに千石台への入植がはじまり、荒地を畑にするのに大変苦労が多かった。40年前くらいから大根の生産が始まった。千石台の準高冷地域で冷涼な気候ときめ細かな黒色火山灰土壌が大根に適している。他の地域では、農業従事者が減っているなか、千石台では増えている。」と話されました。露地栽培地であり、大きな選果場を備えているということで、たくさんの方の見学者が訪れるということです。最後に生徒に向けて、「たとえどんな仕事でも好きになり、愛情を注ぐことが大切です。」とメッセージをいただきました。田村さん、ありがとうございました。



萩・阿武中学校音楽会～心を一つにして～

11月7日（木）萩・阿武中学校音楽会がありました。今まで音楽の時間を中心に掃除終了後の時間も利用して練習してきた「絆」「友～旅立ちの時～」を萩市民館で堂々と披露しました。講師の方の講評は、「男声も女声もとても素敵な声の響きでした。言葉の言い回しもよく工夫されていました。発声をしっかり練習をすると、自分たちの表現したいものに近づきます。」とお褒めの言葉とアドバイスをいただきました。2年、3年の伴奏も素晴らしいものでした。

萩・阿武中学校音楽会



オープンスクール・人権教育講演会

11月18日（月）オープンスクール・給食試食会・3年進路手続き説明会・人権教育講演会を開催しました。強風と強い雨の中、朝早くから公開授業に参観していただきありがとうございました。本年度は、招待した「月曜サロン」の方々を、生徒たちが教室に案内し、掲示物等について説明するという企画を行いました。最初は、小聲で慣れない説明も、次第に大きな声で説明できるようになりました。その後、「月曜サロン」の方々には、給食試食会にも加わっていただきました。



人権教育講演会では、「みんなでできることを考えよう」という演題で、島根あさひ訓練センターの辻芽衣子さんをお招きし、盲導犬について一緒に学びました。

生徒の一人は、「盲導犬の役割を通して、協力してみんながよりよい生活を送れる社会が求められていると感じました。目が不自由で白杖を持った人に、私たちができることをすることで、よりよい生活を送るための一歩が踏み出せると感じました。」と感想を書いていました。



今月の表彰

○中学生の税の作文

○山口県中学校読書感想文コンクール

「萩税務署長賞」

優秀

優良

入選

2年

1年

2年

3年